

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月1日

事業番号	4298	担当課等	消防							
事務事業名	救助活動用資機材等整備事業									
予算科目コード	会計	1	款	8	項	1	目	1	事業開始年度	平成4年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	1 消防救急	(1) 消防体制の整備	救助活動の強化				
関連する個別計画	更新整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目 的	安全に活動するため、更新整備計画に基づき救助活動用資機材等を更新整備するものです。								
対 象	要救助者及び資機材を使用する消防職員								
内 容	陸上での救急救助事案に対応する救助資機材、水難救助活動に使用する潜水器材を更新整備をするものです。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	297,630	301,150	316,360		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	297,630	301,150	316,360		
	総事業費	637,090	1,798,250	1,899,360		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	91,000	394,447	409,481		
	一般財源	546,090	1,403,803	1,489,879		
	財源合計	637,090	1,798,250	1,899,360		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
救助資機材の購入		救助資機材の更新	式	1	1	1
水難救助資機材の購入		潜水機材の更新	式	0	1	1
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
更新整備計画に基づく更新数		救助資機材の更新	式	0	1	1
潜水機材の更新		潜水機材の更新	式	0	1	8

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	救急救助活動、水難救助活動に不可欠な資機材である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	災害環境下での活動が可能となり活動効率が向上する。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	専門的な技術を要する救急救助活動、水難救助活動を行うことができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	要救助者の救出が安全・確実に実施可能となる。
令和6年度までの自己評価または改善点		更新計画に沿って適切に更新を実施している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	救助活動用資機材のため、使用する消防にて維持管理する必要がある。
令和7年度の見直し及び改善予定	過酷な環境下で使用し、老朽化した潜水機材は毎年の点検O/Hを実施しながら更新し、その他の救助資機材に関しては、点検を行いながら更新整備計画に基づき行う。	
令和8年度以降の方向性	更新整備計画をもとに継続する。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	更新計画に基づき計画的に整備並びに維持管理していく必要がある。
---------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月1日

事業番号	10702		担当課等		消防					
事務事業名	消防ポンプ自動車等(非常備)整備事業									
予算科目コード	会計	1	款	8	項	1	目	3	事業開始年度	平成19年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	1 消防救急	(1) 消防体制の整備	③非常備消防体制(消防団)の充実				
関連する個別計画	消防団車両配備更新計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目 的	非常備消防(消防団)の消防ポンプ自動車を、消防団車両更新整備計画に基づき、整備することで消防力の充実強化を図るものです。								
対 象	消防ポンプ自動車(消防団)								
内 容	災害で活動する消防ポンプ自動車(消防団)を整備するもの。 令和3年度:配備から18年経過し、第9分団(福浦地区)に配備されていた消防ポンプ自動車の更新 令和6年度は第8分団(川堀地区)を更新								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	0	24,225,810	0		
	常勤職員	0	7,656,000	0		
	会計年度任用職員等	0	0	0		
	人件費合計	0	7,656,000	0		
	総事業費	0	31,881,810	0		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	6,666,000	0		
	地方債	0	17,300,000	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	0	7,915,810	0		
	財源合計	0	31,881,810	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
備品購入		消防ポンプ自動車	台	0	1	1
県補助額		補助対象	円	0	6666000	6666000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
消防力の整備指針に基づく整備数		消防力の整備指針に基づく整備数の維持	台	0	1	1
県補助額		補助対象	円	0	6666000	6666000

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消防活動に不可欠な資機材であり、各地区の防災能力の維持・向上を確保するため、計画的な更新整備が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	更新により最新の機能を有する車両を配備することで、より効率的な災害活動が期待できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	消火活動において効率性が向上する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	対応力の向上により、災害の早期収束に寄与する。
令和6年度までの自己評価または改善点		消防団車両の更新計画に基づき更新を進められている。 町内の中でも地域特性によって車両の性能(大きさ等)を考慮する必要がある。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	消防車両の整備事業であり、使用する消防(団)が実施する必要がある。
令和7年度の見直し及び改善予定	消防団車両更新計画により、令和7年度は更新予定なし。	
令和8年度以降の方向性	令和9年度に第7分団車両を更新予定。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	9個分団がそれぞれ各1台のポンプ車両を有しているため、引き続き更新計画に基づき更新していく必要がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月1日

事業番号	4374		担当課等		消防					
事務事業名	消防団活動用資機材等整備事業									
予算科目コード	会計	1	款	8	項	1	目	2	事業開始年度	平成27年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	1 消防救急	(1) 消防体制の整備	③非常備消防体制(消防団)の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目 的	県補助を受けながら各分団が必要とする資機材等を整備する。								
対 象	消防団の資機材								
内 容	投光器やホース、安全装備品等を順次整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		891,000	1,798,500		900,000		
	人件費	常勤職員	892,890	903,450		949,080		
		会計年度任用職員等	0	0		0		
		人件費合計	892,890	903,450		949,080		
	総事業費		1,783,890	2,701,950		1,849,080		
財源内訳	国庫支出金		0	0		0		
	県支出金		412,000	869,000		450,000		
	地方債		0	0		0		
	その他特定財源		0	0		0		
	一般財源		1,371,890	1,832,950		1,399,080		
	財源合計		1,783,890	2,701,950		1,849,080		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
備品購入			メニュー方式		円	891000	1798500	891000
県補助額			補助対象		円	412000	869000	869000
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
備品購入			メニュー方式		円	891000	1798500	1798500
県補助額			補助対象		円	412000	869000	869000

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	消防団事業のため必要である。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	士気高揚に資している。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	得られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各消防団分団が必要な資機材等をそろえている。
令和6年度までの自己評価または改善点		各分団から消防活動時に必要となる資機材を要望してもらい、配備及び整備が出来ている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	物品の購入等のため
令和7年度の見直し及び改善予定	各分団に、近年多発する災害に対する必要資機材等を検討し要望してもらう。	
令和8年度以降の方向性	多岐にわたる災害に必要と思われる資機材をよく検討してもらい、今後も継続して要望のあった資器材を整備していく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	消防団活動の充実・強化のため、継続する必要がある。
---------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月1日

事業番号	14864	担当課等	消防							
事務事業名	消防自動車(指揮車)整備事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	令和5年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	1 消防救急	(1) 消防体制の整備	常備消防体制(消防本部・消防署)の整備				
関連する個別計画	消防車両更新整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	老朽化した指揮車を消防車両整備更新計画に基づき、整備することで消防力の維持強化を図るものです。								
対象	要救助者、活動隊員、火災罹災者								
内容	火災原因調査及び救急救助活動時に現場指揮命令の中核となる指揮車を整備するもの。 平成15年9月に配備し、20年経過した指揮車を整備したもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		17,531,420	0	0		
	人件費	常勤職員	2,710,350				
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	2,710,350	0	0		
	総事業費		20,241,770	0	0		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債		13,200,000				
	その他特定財源		4,026,966				
	一般財源		3,014,804	0	0		
	財源合計		20,241,770	0	0		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
各種災害対応			災害出動回数	回	7	45	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
消防力の整備指針に基づく整備数			消防力の整備指針に基づく整備数の維持	台	1	0	1
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	消防活動及び火災原因調査の中核となる現場指揮に不可欠な資機材であり、災害対応力の維持強化を図るため、計画的な更新整備が必要である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	更新により最新の機能を有する車両を配備することにより、より効率的な災害活動が期待できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	消防活動及び火災原因調査の中核となる現場指揮能力が向上する。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	指揮能力の向上により、各災害活動の早期収束に寄与する。
令和6年度までの自己評価または改善点		消防車両整備計画に基づき更新しているが、更新を延長することにより、車両資機材の老朽化による故障リスクが高まるため、計画に基づく更新が必要。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	消防車両の整備事業であり、使用する消防が実施する必要がある。
令和7年度の見直し及び改善予定	車両の新機能や出動状況を考慮し、消防車両更新整備計画の見直しを随時行う。	
令和8年度以降の方向性	今後も計画通り更新整備を実施していく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	完了	消防力を維持するため整備計画に基づき車両の更新を完了した。
---------	----	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	完了	一次評価と同様
---------	----	---------